

このたびは、「FAX見張隊」（以下、本装置）をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本装置は、アナログ公衆回線または、アナログ内線回線とFAX(複合機)の間に結線し、FAXおよび電話の着信をフラッシュとベル音で通知する機能を有しております。この説明書を良くお読みいただき、本装置の機能を十分発揮できるように正しく取り扱い、運用いただきますようお願い申し上げます。この説明書は付属品と共に大切に保管してください。

本装置は、アナログ回線専用です。
次のような回線には接続できません。
・ISDN回線 ・NTTのアナログ回線仕様と準拠していない回線（一部TAなど）
・F網(1300Hz無鳴動着信) ・デジタル方式の構内交換機(PBX)

【ご使用上の注意】
・本装置及び付属品の使用により生じた金銭上の障害発生損失又は第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・本装置及び付属品は、改良の為予告なしに変更することがあります。
・本装置の故障、誤動作、不具合あるいは災害・事故等の外部要因によって、通話の機会を逸したため生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・人身及び物損事故につきましては、本装置の使用、不使用を問わず、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書の内容については、改良のため将来予告なしに変更することがあります。

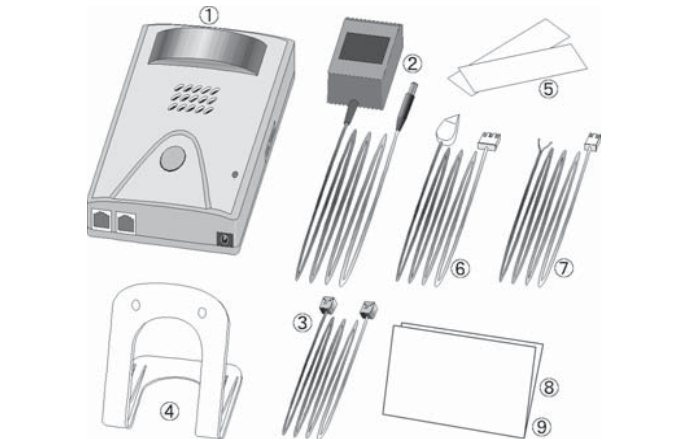
1. ご使用になる前に

1-1. 注意事項

- 設置場所について
次の場所には、設置しないでください。火災・感電の原因となります。
●湿度の高い場所 ●火気のそば ●高温・多湿の場所 ●油飛びや湯気が当たるような場所
●不安定な場所
本装置を正常に、また安全に使用していただくため、次のようなところへの設置は避けてください。
・ほこりが多い場所 ・極度に振動が激しい場所 ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所 ・多湿の場所 ・極度に高温になる場所
- 使用について
●万一、発煙、臭気する等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプタをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店が弊社に修理をご依頼ください。
●電源ケーブルが傷んだ状態（芯線の露出・断線等）のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプタをコンセントから抜いて、ご購入店が弊社に修理をご依頼ください。
●AC100V 家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
●専用のACアダプタ以外は、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
●ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
●本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
●本装置に水が入ったり、ぬらさぬよう、および異物が入らないようにご注意ください。
●激しい雷が予想される時は、あらかじめ、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
雷が発生した際は、感電のおそれがあるので、ACアダプタおよびモジュラーケーブルに触れないようにしてください。
●コンセントとソケットの間のほこりは、定期的に（半年に1回程度）に取り除いてください。

1-2. 商品構成

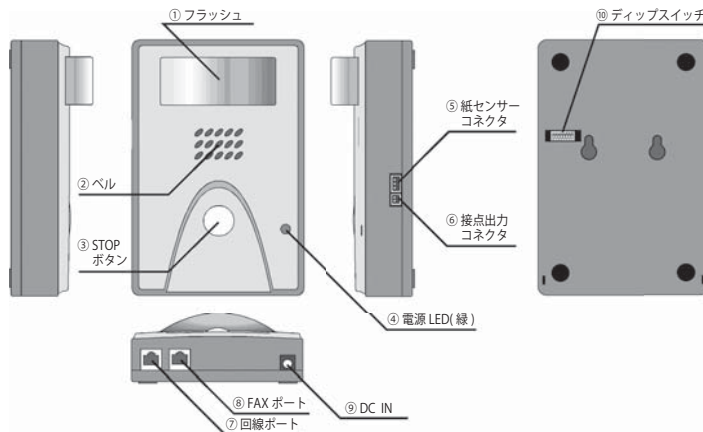
ご使用いただく前に、次の物が全部そろっているか確認してください。
万一、欠品の場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または、弊社（裏面に記載）までご連絡ください。



① FAX見張隊 本体	1台	⑥ 紙センサー	1個（長さ：約2m）
② ACアダプタ	1個（長さ：約1.8m）	⑦ 接点出力ケーブル	1本（長さ：約1m）
③ モジュラーケーブル	1本（長さ：約1.8m）	⑧ 取扱説明書・工事説明書	1部（本書）
④ 設置用スタンド	1個	⑨ 保証書	1枚（本書内巻末）
⑤ 設置用マジックテープ	2枚（長さ：約5cm）		（取扱説明書・工事説明書内）

2. 本装置を使用するための準備

2-1. 各部の名称



① フラッシュ	着信を通知するとき点滅します。
② ベル	着信通知時および、異常発生時に鳴動します。
③ STOPボタン	ベル&フラッシュ鳴動を停止させたい時に押下します。
④ 電源LED(緑)	本装置動作中に点灯します。
⑤ 紙センサーコネクタ	本装置付属の紙センサーを接続する端子です。
⑥ 接点出力コネクタ	本装置付属の接点出力ケーブルを接続する端子です。
⑦ 回線ポート	NTT(相当)のアナログ回線を収容します。 主装置(PBX)配下のアナログ内線相当回線を収容します。
⑧ FAXポート	FAX(複合機)または電話機へのモジュラーケーブルを接続します。
⑨ DC IN	付属のACアダプタを接続します。
⑩ ディップスイッチ	本装置の動作設定を行います。

2-2. 設定メニューの表示方法

本体の「回線」ポートへ、NTT(相当)アナログ回線を接続します。
内線設置の場合は、主装置(PBX)の内線側からのモジュラーケーブルを接続します。
※本装置を排出紙監視モードで運用する場合は、接続不要です。

本体の「FAX」ポートへ、FAX(複合機)または電話機へのモジュラーケーブル(本製品に同梱)を接続します。
※本装置を排出紙監視モードで運用する場合は、接続不要です。



【注意】「FAX」ポートと「回線」ポートに接続するケーブルを誤って逆にすると、本装置が破損する可能性があります。

2-3. 紙センサーの接続

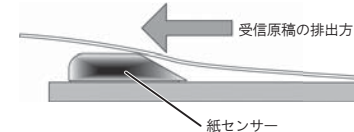
本装置の紙センサーコネクタに、紙センサーケーブルを接続します。
※紙センサーケーブルの延長はできません。
※紙センサーを使用しない場合、接続は不要です。



紙センサー部分を、FAXの受信原稿排出トレイにセットします。



紙センサーの先端部を、受信原稿の排出部に正対するように取り付けてください。
誤った取り付けを行うと、紙詰まりの原因になるので注意してください。



2-4. 接点出力ケーブルの接続

本装置の接点出力コネクタに、接点出力ケーブルを接続して、接点出力対応のブザーや警告灯(お客様がご用意)をご利用いただけます。
※接点出力機能を使用して、外部装置と連動させない場合、接続は不要です。



接点出力は、本装置のベル音に連動して出力されます。
紙センサーのみでご使用の場合は、ご使用いただけません。

2-5. ティップスイッチ設定

ティップスイッチは、本体背面にあります。

ティップスイッチ1・ティップスイッチ2 ベル音量の設定です。3段階の設定があります。

1 ON (上)	ベル音大
2 ON (上)	ベル音小
1 OFF (下)	無効な設定です (ベル音大)
2 ON (上)	無効な設定です (ベル音大)
1 OFF (下)	無音
2 OFF (下)	無音

ティップスイッチ3

FAX モード時の紙センサー有効/無効の設定です。
※FAX モード (ティップスイッチ 4 が ON) の場合のみ有効です。

ティップスイッチ 3 ON (上)	紙センサー有効 FAXの着信通話終了後、受信原稿排出で、ベル＆フラッシュ鳴動。原稿を取り出すと停止
ティップスイッチ 3 OFF (下)	紙センサー無効 FAXの着信通話終了後、ベルはSTOPボタンが押下されるまで鳴動、フラッシュは30分間点滅

ティップスイッチ4

TEL モード / FAX モード切り替え
※FAX 見張り機能オンの場合のみ有効です。
着信時、ベル＆フラッシュ動作タイミングを決定します。

ティップスイッチ 4 ON (上)	FAX モード FAXの着信通話終了後、ベル＆フラッシュが動作します。
ティップスイッチ 4 OFF (下)	TEL モード 着信時、電話機への呼び出し音が鳴っている間、ベル＆フラッシュが動作します。

ティップスイッチ5

本装置を回線 (NTT 相当) に設置するか、内線 (主装置 PBX 配下) に設置するかの設定です。

ティップスイッチ 5 ON (上)	内線 (主装置 PBX 配下) に接続 内線呼出に対応します
ティップスイッチ 5 OFF (下)	回線 (NTT 相当) に接続 アナログ固定回線からの着信に対応します ナンバーディスプレイ着信も可能

ティップスイッチ7

FAX からの排出された原稿の有無の監視のみを行います。
ティップスイッチ3、ティップスイッチ4の設定は無効となります。

ティップスイッチ7 ON (上)	排出紙監視モード 着信状態に関わらず、紙センサーでの監視のみを行います
ティップスイッチ7 OFF (下)	FAX モード、TEL モード有効

ティップスイッチ6

本装置では使用しません。
必ず OFF にしてください。

ティップスイッチ8

本装置では使用しません。
必ず OFF にしてください。

※ティップスイッチを変更した場合、必ず本装置電源の OFF-ON を行ってください。

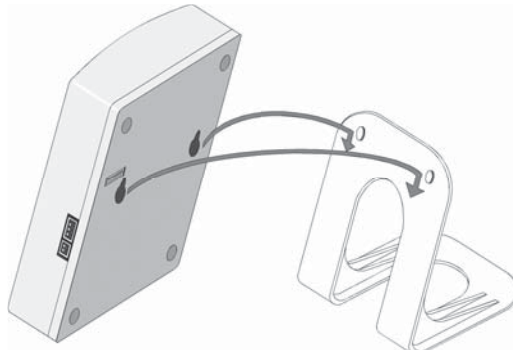
2-6. 電源の接続

※必ず「2. 5 ティップスイッチ設定」が完了してから電源を接続してください。
ACアダプタは、必ず交流 100V のコンセントに差し込んでください。



2-7. スタンドへの設置

付属の設置用スタンドの突起と、本体裏面の穴の位置を合わせて、はめ込んでください。
また、設置場所に応じて、同梱の両面テープを使用し、本装置の安定を図ってください。



3. 本装置の操作方法



音と光でお知らせ

3-1. FAX モードの場合 (ティップスイッチ 4 ON (上))

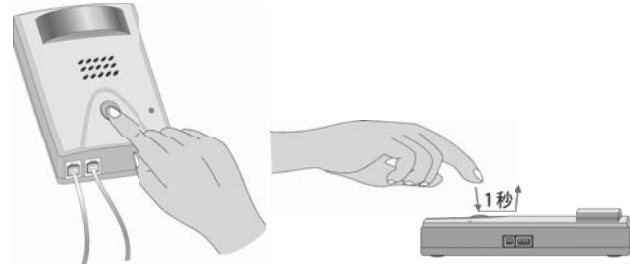
FAX が着信応答し、通信が終了後、ベル鳴動＆フラッシュ点滅が始まります。
ベル＆フラッシュの停止方法はティップスイッチの設定により異なります。

●紙センサーが無効の場合

紙センサー無効 (ティップスイッチ 3 OFF) ならば、「STOP」ボタンを 1 秒程度 (ベルが止まるまで) 押下してください。フラッシュは最長 30 分点滅して停止します。
(「STOP」ボタンを押下しない場合、ベルは鳴り続けます)

●紙センサーが有効の場合

紙センサー有効 (ティップスイッチ 3 ON) ならば、排出された原稿を取り除くか、「STOP」ボタンを 1 秒程度 (ベルが止まるまで) 押下してください。フラッシュは最長 30 分点滅して停止します。
(原稿の取り出し、「STOP」ボタンを押下しない場合、ベルは鳴り続けます)
また、FAX 受信終了後、一定時間 (1 分) 以上 FAX から受信原稿が排出されない場合、ブザーが鳴動して異状を知らせます。



3-2. 排出紙監視モードの場合 (ティップスイッチ 7 ON (上))

着信時、ベル鳴動＆フラッシュ点滅開始。着信終了または FAX/TEL 応答で停止します。
紙の検出は無効になります。

3-3. 排出紙監視モードの場合 (ティップスイッチ 7 ON (上))

FAX から受信原稿等の排出を検知すると、ベル鳴動＆フラッシュ点滅開始。
原稿を取り出すと停止します。

4. 故障かな?と思ったときは

一度、各項目をご確認ください。

症状	確認及び対処
電源ランプが点灯していない	・電源ケーブルが抜けていませんか? →電源を確認してください。
着信があっても、FAX (複合機)、電話が鳴動しない	・モジュラーケーブルは正しく接続されていますか? →ケーブルの接続を確認してください。 ・モジュラーケーブルは古くありませんか? →本装置とFAX(複合機)、電話機の間は同梱のモジュラーケーブルを使用して接続してください。症状が改善されない場合は、回線側のモジュラーケーブルを新しいものに交換してみてください。
発信できない	・モジュラーケーブルは正しく接続されていますか? →ケーブルの接続を確認してください。
何もしていないが、突然ベルが鳴り出した	・FAX モードかつ紙センサー使用設定で、受信した原稿が 1 分以上鳴り出した FAX から排出されない場合、異常ベルが鳴動します。
受信した原稿が紙詰まりする	・紙センサーは適切な位置、方向で設置されていますか

上記の如くで、異状が改善されない場合は、装置の故障が考えられます。購入店が弊社のサービスに修理をご依頼ください。

5. 仕様

接続可能固定回線数	1 回線	動作温度	0℃ ~ 45℃
接続可能端末数	FAX(複合機)または電話機 1 台 排他利用	動作湿度	10%~80%RH (結露なきこと)
電源	AC 100V 50Hz/60Hz	本体寸法	150mm×100mm×50mm (奥行×幅×高さ)突起物含む
消費電力	最大 6W	本体重量	約 250g

6. お問い合わせ

株式会社 **レッツ** コーポレーション

カスタマーサービス: **052-209-7860 (平日: 9時~18時)**

■本社 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2-20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル
TEL:052-201-6230 FAX:052-201-5050

■東京営業所 〒104-0061 東京都中央区銀座8-19-3 銀座竹葉亭ビル6F
TEL:03-3546-0889 FAX:03-3546-0941

■大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原1-2-9 新大阪ハイロードビル5F
TEL:06-6151-5749

7. 製品保証書

製品保証書

この製品は下記の通り保証いたします。

1. この製品は、厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。保証期間内に、正常な使用状態において万一故障した場合には、1年間無償で修理いたします。
2. 修理は、お客様の代理店もしくは当社は営業所・サービスセンターに、必ずこの保証書をご持参の上お申し付けください。(持ち帰り修理の場合、送料はお客様とさせていただきます)
3. 本装置は保証期間終了後も、下記に記載する項目に該当する場合は、製品の修理と見做し、修理料をいただきます。大切に保管してください。
4. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
5. この保証書は、日本語のみで記載されています。
6. 保証書に記載のない場合は無効です。



株式会社 **レッツ** コーポレーション

製品名	機種	種別
お買い上げ日	年 月 日	
保証期間	お買い上げ日より1年	
ご購入先	TEL -	
ご住所		
ご氏名		
販売店名		種
ご印字名		TEL -

次の場合には保証修理となりません。
(1) 天災、盗難、火災、雷害、洪水、地震、落下物による破損等。
(2) 不正な使用方法による破損等。
(3) 本装置の修理に必要と認められた場合に、修理料をいただきます。
(4) 保証書に記載されていない破損等。
(5) 保証書に記載されていない破損等。
(6) 保証書に記載されていない破損等。

※本保証書は、保証の前提条件として必ずお読みください。保証期間終了後、この保証書が有効であることを証明し、交換または修理の請求をさせていただきます。